

宮城県

宮城県泉松陵高等学校

横尾 勇 先生



高1



音声CDを活用して自ら学習する生徒が増えた！

中学英語の「学び直し」から、大学受験、社会で通用する英語力を身に付けるまでの流れを、3年間でどう効率良く進めて行くかを考えたとき、文法を「学ぶ」視点から「使える」視点で作られた『ユメブン』がふさわしいと思い、採用しました。

本教材は英語表現Ⅰの授業で使用しています。50分、週2コマの授業なので、毎回の授業で扱うことは難しい状況のため、本教材を「普段の家庭学習の中にいかに落とし込んでいくか」がカギとなります。4月初めに、生徒に向けて学習方法をしっかり説明し、毎回必ず授業の冒頭で教師がデモンストレーション。学習が習慣化した5月初めになるとCDを流すだけで生徒は自ら練習を始めるようになります。自主学習は、著者の先生のやり方に従って、音声、文字の両面から定着を図らせ、学校では主に音声をチェックします。グループワークなどの活動を取り入れながら、音声を使った発話トレーニングをした方が格段に定着すると思います。授業の中心は検定教科書ですが、本教材を通して定着させた技能を使って、さまざまなアウトプットをさせ続けることで、「何をインプットしなくてはならないか」を生徒自らに考えさせることが、必要になってくるのではないかと感じてます。

① 最も指導に役立ったこと

音と意味のリンクの強化に効果があり、英検の合格者も増えた

教材の使用方法について

○授業と自学で使用

週に1回程度、英語表現Ⅰの授業の冒頭5～10分程度で使用

自学では本冊のシャドーイング、バックトランスレーションなどの音読とリスニングや英作文のドリルを行なわせている

テストの実施方法について

○1回の範囲、問題数

金曜日の朝学習で1Unit分の範囲を出題

○問題の種類

整序英作文、空所補充、和文英訳問題など



2015年12月現在